

# 救えるはずの命を救うために

市は、医師会の協力で夜間急病センターと救急急病当番医を運営し、夜間や休日の初期救急医療を行っています。これらの救急医療機関は「急病の方のために応急的な処置を行う医療機関」であり、通常の診療とは異なります。私たちが本当に必要なときに救急医療を受けられるように、できることを考えてみましょう。  
 問合先 岩見沢保健センター（4西3 であえーる岩見沢3階） ☎ 25-5540

## 診療体制の違い

	医療機関（通常の診療時間内）	救急医療機関
検査	症状に応じた検査	応急処置が中心
診断	医師が詳しい診断・指導を行う	詳しい検査ができないため、診断が確定しないこともある
薬	症状の改善に必要な日数分	平日の通常診療が始まるまでの日数分（通常は1日分）
医療費	通常料金	割増料金

普段行く病院とは違うんだね



## コンビニ受診はやめよう！

「平日は仕事がある」「待ち時間が少なそう」などの理由で救急医療機関を受診することを「コンビニ受診」といいます。

コンビニ受診が増えると、本当に救急医療を必要とする重症患者の治療に支障を来すほか、対応する医師や看護師の負担が大きくなってしまいます。

症状が軽い場合は、まず市販薬を服用するなど様子を見て、なるべく通常の診療時間内に受診しましょう。容体が悪化するなど緊急性がある場合は、無理をせず救急急病当番医や夜間急病センターを受診しましょう。



## かかりつけ医を持とう！

安心して医療を受けられるよう、日ごろの病院などのかかり方を見直してみましょう。

かかりつけ医を持つことで、健康状態や生活環境などを把握してもらえます。また、病歴や体質などの情報を基に、適切な治療やアドバイスを受けることができ、病気の予防、早期発見、早期治療にもつながります。



## 緊急性があるときは

岩見沢市の救急医療機関

【夜間】夜間急病センター（10西3） ☎ 25-3000

診療時間 午後6時から午前0時

【休日】救急急病当番医

※毎月の当番医は、折り込みのいきいきカレンダーをご覧ください。



北海道小児救急電話相談

夜間に子どもが急な病気や事故で具合が悪くなったとき、家庭での対処法や直ちに医療機関にかかる必要があるか、看護師の助言を受けることができます。より専門的な知識を要する場合は、小児科医が助言・アドバイスを行います。

北海道小児救急電話相談窓口 ☎ #8000 または 011-232-1599

相談時間 午後7時から午前8時

息苦しさや強いだるさなど、新型コロナウイルスの感染が疑われる場合は、24時間相談窓口の北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター（☎ 0120-501-207）にご相談ください。詳しくは、折り込みのいきいきナビをご覧ください

